

CI インサイトレポート － CHF － 【 目次見本 】

§ レポート全体概要

* 調査重点薬剤

調査対象疾患	CHF（慢性心不全）		
調査ポイント	既存治療/ 既存薬	<ul style="list-style-type: none"> ➤ タイプ別の薬剤処方状況を分析 ＜標準治療（ACE/ARB、β遮断薬、MRA）の実施状況を検証＞ ➤ 左室駆出率（HFrEF/HFpEF）別薬剤処方状況を検証 	
	新規薬剤 （開発薬）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ イバブラジン、LCZ696、SGLT2阻害薬等 薬剤別の評価を徹底検証！ ➤ SGLT2阻害薬の心不全治療薬としてのポテンシャルを徹底検証！ ➤ 薬剤別の上市（承認取得）後の処方動向を徹底予測！ 	
	将来動向	<p>＜新規薬剤の処方動向予測を踏まえた上で＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>CHF治療のパラダイムシフトを徹底予測！</u> （新規薬剤が市場を席巻し、CHF市場は拡大路線に向かうか？） 	
対象薬剤	既存薬	ACE阻害薬（レニベース 等）、ARB（プロプレス 等）、β遮断薬（アーチスト 等）、MR拮抗剤（セララ 等）、バソプレシン拮抗薬（サムスカ）、利尿薬（ラシックス 等）、強心薬（ジギタリス 等）、SGLT2阻害薬（ジャディアンス 等）	
	新規薬剤 （開発薬）	HCNチャネル阻害作用	ONO-1162(イバブラジン) <2019.9 承認>
		アンジオテンシン受容体/ ネプリライシン阻害薬	LCZ696(サクビトリルバルサルタン)
		sGC刺激薬	BAY 1021189(ベルイシグアト)
		心筋ミオシンアクティベーター	AMG 423(Omecamtiv Mecarbil)
		SGLT2阻害薬	エンパグリフロジン/ダパグリフロジン

§ レポートPart別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III KOLヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	深層面談調査
調査対象医師 (対象医師数)	—	CHF患者を診療している医師 207名 <内 対象薬剤治療参加医 61名>	CHF TOP KOL 3名 <関連学会理事・役員>
調査対象施設・ 診療科	—	循環器内科 <HP/GP共に>	循環器内科
調査内容	<p><既存薬> プロフィール、作用機序・特性、 薬価、販売高推移、臨床試験、 関連論文</p> <p><開発薬> プロフィール、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p><その他> 注目企業動向、学会情報</p> <p><別添> 抄録集（関連論文）</p>	<p><既存治療/既存薬></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 合併症併発状況 ● ガイドライン参考状況 ● タイプ別薬剤処方状況/併用状況 ● 現状でのSGLT2阻害薬の処方状況 <p><新規薬剤（開発薬）></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤別認知状況 ● 薬剤別処方意向・期待度 ● HFrEF/HFpEF別薬剤別処方動向予測 ● 「DAPA-HF試験結果」による 今後のSGLT2阻害薬の処方動向予測 <p><新規薬剤参入後の今後の薬剤処方動向></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 既存薬/新規薬剤の薬剤別処方動向予測 ● タイプ別薬剤処方動向 /併用動向予測 <p>等</p>	<p><既存治療/既存薬></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 臨床上での薬剤選択の際の重視内容 ● タイプ別薬剤処方状況 * ● 治療薬のポジショニング * (ベース薬<標準治療>の処方状況) ● HFrEF/HFpEF別薬剤処方状況・治療評価 <p><新規薬剤（開発薬）></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤別評価/治療薬としてのポテンシャル ● 「DAPA-HF試験結果」による SGLT2阻害薬の処方動向の変化予測 * <p><新規薬剤参入後の今後の薬剤処方動向></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 既存薬/新規薬剤の薬剤別処方動向/ ポジショニング 予測 * ● (ベース薬<標準治療>の変化予測) ● 急性心不全治療の変化動向予測 <p>等</p> <p>*の項目は、国内全体の処方状況/将来動向に についての検証/予測</p>
調査実施時期	2019年 8月 ~ 10月		
体裁／頁数	Part I … P P T (or E X C E L) 、Part II & III … P P T / A 4 計約600ページ（報告書本編のみ、別添は含まない）		
レポート価格	フルセット<3パート> 180万円（税別） *Part別販売 可		

< Part I データ分析編 目 次 >

Ⅴ. 調査概要	3
---------	---

Ⅰ. 既存品	4
1. プロファイル	5
2. 作用機序・特性	17
3. 薬価	37
4. 臨床試験 (UMIN)	46
5. 臨床試験 (JAPIC)	55

Ⅱ. 開発品	56
1. プロファイル	57
2. 作用機序・特性	60
3. 臨床試験 (JAPIC)	63

Ⅲ. 関連企業動向	66
-----------	----

Ⅳ. 学会情報	71
1. 日本心不全学会	72
2. 日本循環器学会学術集会	81
3. 日本心臓病学会	85
4. 日本高血圧学会	86

Ⅴ. 関連文献	87
1. 既存品	
1 - 1. 既存品・製品別	88
1 - 2. 既存品・複数	96
2. 開発品	
2 - 1. 開発品・製品別	102
2 - 2. 開発品・複数	109
3. 既存品+開発品	110

< Part II 定量調査 要約編 目 次 >

	ページ
§.調査概要	3
§.回答者プロフィール	4
§.Executive Summary	5
§.Summary	12
1) 診療状況	13
2) 治療薬の処方状況・評価	19
3) 開発薬の認知状況・処方意向・期待内容	41
4) 今後の薬剤処方動向予測(対象開発薬6剤発売後)	73

< Part II 定量調査 結果編 目 次 >

	ページ		ページ
§.調査概要	3		
§.回答者プロフィール	4		
§.調査結果	5		
1) 診療状況	6	3) 開発薬の認知状況・処方意向・期待内容	110
1.診療患者数	7	1.開発薬の治験参加状況	111
2.薬物療法実施状況	8	2.開発薬の薬剤別認知状況	113
3.合併疾患併発状況	10	3.開発薬の薬剤別処方意向・期待度	126
4.重症度（NYHA分類）別患者数	13	4.開発薬の薬剤別期待ポイント	144
5.左室駆出率タイプ別患者数	15	5.左室駆出率タイプ別開発薬の薬剤別処方動向予測	186
6.ステージ別患者数	21	6.今後のSGLT2阻害薬の処方意向・対象患者	240
7.治療状況別患者数	23		
8.実臨床上でのガイドライン参考状況	25	4) 今後の薬剤処方動向予測(対象開発薬6剤発売後)	243
2) 治療薬の処方状況・評価	27	1.薬剤選択の際の際の重視内容の変化動向	244
1.薬剤選択の際の重視内容	28	2.今後の薬剤別優先順位	253
2.処方形態別実施状況	36	3.今後の単剤処方動向	327
3.薬剤別処方状況	39	4.今後の併用処方動向	344
4.薬剤別優先順位	51	5.薬剤選択の際に参考にするチャネル	384
5.SGLT2阻害薬処方状況	65		
6.過去1年間の処方形態別実施状況	66		
7.過去1年間の単剤処方状況	69		
8.過去1年間の併用処方状況	72		
9.薬剤別満足度	100		
10.処方薬剤変更の要因	107		

< Part Ⅲ K O Lヒアリング編 目 次 >

§ 調査概要	3
§ 総括	5
§ 調査結果	12
1. 臨床上での薬剤選択の際の重視内容	13
2. 現在の臨床上での薬剤処方状況	15
3. 左室駆出率タイプ（HFrEF/HFpEF）別薬剤処方状況	19
4. 新規薬剤（開発薬）の評価	22
5. DAPA-HF試験結果によるSGLT2阻害薬の処方動向の変化予測	28
6. 今後の薬剤処方動向予測	32
7. 新規薬剤参入後の急性心不全治療の変化動向予測	36

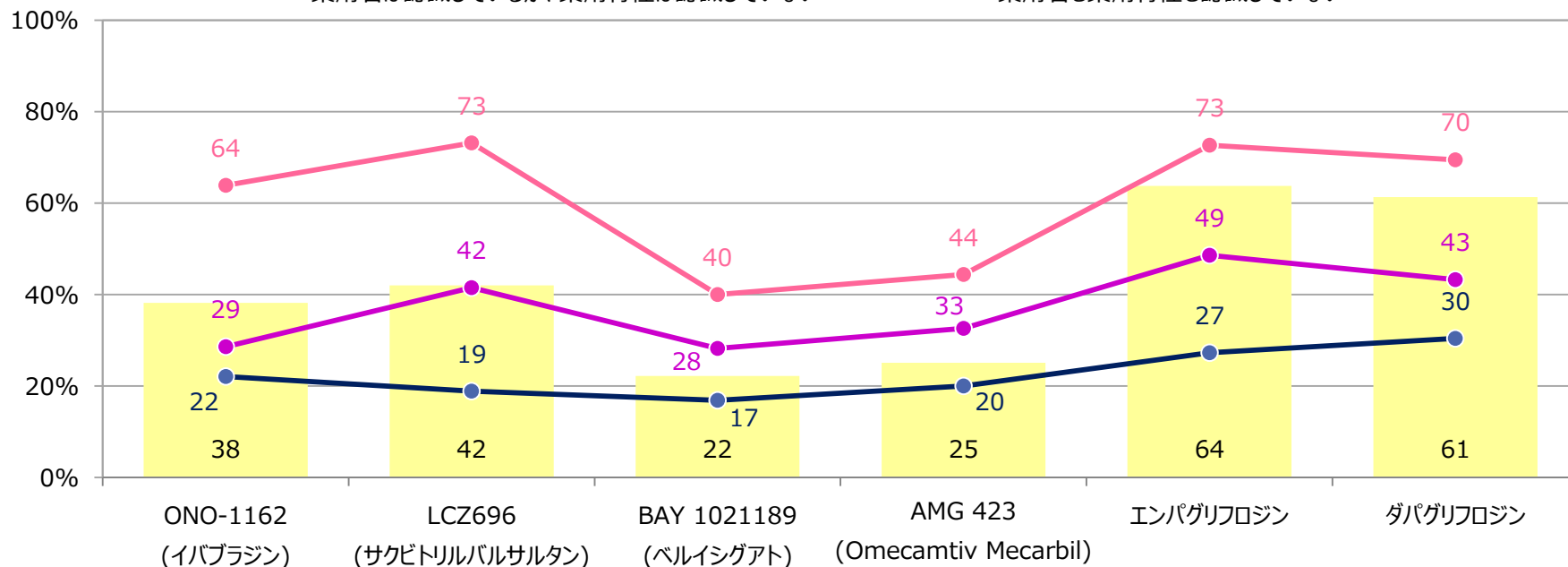
3) 開発薬の認知状況・処方意向・期待内容

3-3.開発薬の薬剤別処方意向・期待度

- 処方意向・期待度のTOP2(「非常に高い」「ある程度高い」を合わせた割合)について、各開発薬の認知状況別に見ると、薬剤名を認知している医師の方が処方意向が高い。特に「薬剤名と薬剤特性の両方を認識している」とする医師は「ONO-1162(イバブラジン)」「LCZ696(サクビトリルバルサルタン)」「エンパグリフロジン」「ダパグリフロジン」において60%～70%台となっている。

開発薬の薬剤別処方意向・期待度 (TOP2*) <各薬剤の認知状況別>

全体 n=207
 ● 薬剤名と薬剤特性の両方を認識している
 ● 薬剤名は認識しているが、薬剤特性は認識していない
 ● 薬剤名も薬剤特性も認識していない



どちらも認識	n=72	n=71	n=25	n=18	n=150	n=154
薬剤名のみ	n=49	n=41	n=46	n=49	n=35	n=30
認識していない	n=86	n=95	n=136	n=140	n=22	n=23